

瑞穂鯨城会ウォーキングクラブOP企画

2020.7.30 ゆとりーとラインで行く東谷山・尾張戸神社の下見

当初の予定では参加者は6名でしたが、昨夜のTVニュースで、名古屋市の新型コロナウイルス患者が100名を超える急激な増加が報じられ、リスク回避から見合わせる方が増え、最終的には能天気な幹事二人の下見になりました。

地下鉄大曾根駅に9:00に待ち合わせ、ゆとりーとライン高蔵寺行き9:07に乗車、9:42に東谷橋で下車しました。

交通量が多い東谷橋交差点を渡り、まずは近場の白鳥古墳に寄りました。横穴式円墳の周囲は芝と叩き土間舗装が綺麗に整備され、石組み横穴には照明が施され、無人のCDによる音声案内まで設備されていました。



至れり尽くせりの横穴式石室白鳥古墳

白鳥古墳の見学後、入口の案内板でコース概要を確認し、昔の愛岐道路の国道R155の角の派手なモーターを左に見て、右折して東谷山作業道に向かいました。新興住宅地の市道の丸い柄模様のコンクリート舗装の急な坂道を上ります。陽射しが強く汗が吹き出し早くもTシャツの背中がぐっしょりとなりました。住宅や石垣の日陰を選びながら黙々とウォーキングし、疲れた頃に自然林に囲まれた登山口に到着しました。

流石、尾張戸神社の作業道の両側は巨木の照葉樹林で覆われ、昼なお暗い鬱蒼とした森でした。昨日の雨で砂利道は所々に水溜

りがあるが、山道に慣れた二人には何ら問題なく足取り軽く登坂しました。

頂上手前の作業道から分岐して、急な朽ちた丸太階段の山道に入り、山頂手前の江戸時代の甕棺墓の発掘跡に鎮座する小さなお社の甕室明神に寄りました。



氏子さんのボラ活動で綺麗な尾張戸神社

10時半過ぎに山頂の尾張戸神社に到着しました。円墳の山頂には神明造の本殿が祀られています。

社務所の前の説明板によれば尾張戸神社の祭神は、天火明命(あめのほのあかりのみこと)尾張氏祖神、天香語山命(あめのかぐやまのみこと)天火明命の長子、建稻種命(たけいなだねのみこと)が祀られており、社伝によると第13代成務天皇5年に宮簀姫命の勧請により創建されたといわれ、円墳の築造は4世紀頃と言われています。

東谷山の名古屋で一番高い三角点P198.3mは、国史跡の土塀の内に設置されており、本殿の神域に入らないと見る事はできません。

天火明命は病除けの神様として地元の方に厚く信仰されているそうです。

小生も拝殿前で新型コロナウイルス退散の祈願をさせていただきました。

西の展望台では名古屋駅前のビル群を眺望し標高がほぼ同じである事を納得しました。また、庄内川の流れと三段の河川段丘を改

めて確認して、古代人に思いを馳せて尾張戸豪族・長老の気分になりました。

東の展望台はパイプ足場の上に立派な床板と豎格子手摺が風情のある木造りで設置されています。

また、その手前には山座同定と日の出位置を表示した手作りによる大きな銅板絵図がありました。

ここからの展望は猿投山を始め、折平山や、三国山など尾張と奥三河の尾根稜線を観ることができます。



東展望台から猿投山・三国山を遠望

今年は梅雨明けが遅れ幾らか曇り空でしたが、いつも見る地元の山並みは安心感があり妙に納得するものがあります。

しばらく休憩した後、散策道で中社古墳の前方後円墳に向かいます。

中社古墳の後円墳上には小さな祠が鎮座しており、下草が刈りこまれ手入れが行き届いて形状が良く確認できました。部分的な復元ながら葺石・円筒埴輪が整備され、全体像を想像すれば、かなり大きい事が良く分かりました。

南社古墳に至る丸太階段は蹴上が高く、踏み面が中途半端に長いので両足を交互に踏み出すわけにいかず、片足に負担が掛かり何とも歩き難い階段になっています。これも参道に似せて直線にコース取りされているので止む得えません。

二人で不満やら愚痴を言いながら下ること10分ほどで南社古墳に到着し葺石や、円筒埴輪を見学しました。

山頂から30分程でフルーツパーク散策路入口に到着しました。



南社古墳の復元されている葺石・円筒埴輪



これで今日のミッションは全て終わることができ、時間に余裕もありましたのでフルーツパークに立ち寄ることにしました。

世界の熱帯果樹温室は敬老パスで100円で入場できました。見たことも無い南国のフルーツを眺め、味を想像するのも楽しみです。その後、名古屋三大古墳の白鳥塚古墳に寄りました。因みに三大古墳とは、熱田の断夫山古墳と鶴舞の八幡山古墳です。



大変綺麗に整備された白鳥塚古墳

未だ疲れ知らずのHさんに誘われて復元された志段味大塚古墳を始め、大塚・大手古墳群を見ながら遊歩道を新しくできた「しだみ古墳群ミュージアム」にも寄りました。帰路は市バスで上志段味より14:35 発大曾根行きに乗車。

因みに今回の下見は、我が家の本願寺町の総徒歩数は16,000歩で、距離11.9km、徒歩時間2:40でした。

(記31期 宮田 岩男)